

保護者向け 児童発達支援事業評価表 集計結果

公表日 令和6年 3月 日 (実施日 令和6年3月1日～15日)

配布数 41 回収数 30 割合 %

こどもの広場

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが確保されている	30					
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	30					
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	30					
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	30					
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されているか	30					
	⑥ 児童発達支援計画(個別支援計画)には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	30					
	⑦ 児童発達支援計画(個別支援計画)に、添った支援が行われているか。	30					
	⑧ 活動プログラムが固定しないように工夫されているか	27			3		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	30					
保護者への説明	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30					
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	30					
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	25	3		2		
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30				・年に数回、目標や課題などを話し合う面談の場を設けていただいています。	
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	2			・定期的な面談や、連絡帳を通して園での様子や家庭での様子を共有している。	

等	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	25			5	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れした際に迅速かつ適切に対応しているか	30				
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配置がなされているか	30				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動海洋や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に発信しているか	30				
	⑲	個人情報に十分注意しているか	30				
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に対し周知・説明されているか	30				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練が行われているか	30				
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	30				・いつも機嫌よく帰ってくるので楽しく過ごしていると思う。 ・週に3回しか通えないので行けない日は「がっこういく」と行きたがっている。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	30				・急なお願いも対応してもらえて助かっている。 ・先生方がいつも笑顔で雰囲気がとても良いです。
							子ども達やご家庭が安心して通所できる場所になる様今後共努力して参ります。

事業所職員向け 児童発達支援事業自己評価表 実施結果

2024. 3.1~3.15

こどもの広場 19人回答

チェック項目		はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	19	0	車いすやバギー、立位台、座位保持椅子などを置くスペースがない。
	② 職員の配置数は適切であるか	19	0	・基準以上の職員を配置している。 ・職員の数が増えればより、重複障害の児や医療ケアの必要な児の受け入れも増やす事ができる。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	18	1	・障害に応じたクラス分けで活動しやすい環境となっている ・設備等バリアフリー化されている ・子どもの特性に応じて環境設定に努めている。 ・スロープや段差など車いすやバギーなど移動しやすくなると良い。 ・車椅子用の洗面台があると良い。(高さなどの問題)
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	0	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	19	0	・クラス毎に話し合っている ・職員会議で内容を確認し、反省につながっている ・クラス毎の振り返り、クラス以外の全体での振り返りは日常的に行われている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	18	1	改善すべき点を職員会議し優先順位を決めPDCAサイクルに基づき改善目標を決めています
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の事務所の会報やホームページ等で公開しているか	19	0	法人ホームページにおいて公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	19	0	・第三者委員会を年2回実施している。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	19	0	・年に一人1回以上の外部研修への参加。 ・定期的な内部研修の実施により資質の向上を図っている。
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	19	0	・保護者との面談を通してニーズや課題を把握し、本人の日常生活や課題への取り組みを含め、アセスメントを行い分析している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19	0	
	⑫ 児童発達支援計画(個別支援計画)には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	0	・保護者のニーズをもとに、子どもの現状(発達段階や必要な支援など)を見極めて、必要な項目を選択している。 ・個別支援会議を通して、クラス以外職員の意見を聞きながら計画をたてている。(必要に応じて見直している。)

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画(個別支援計画)に、添った支援が行われているか。	19	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで話し合ってプログラムを決めている。 ・クラスの職員、それ以外の職員で話し合い立案している。 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じてプログラムをたてている ・その都度話し合い、活動の内容を検討している(天候、子どもの人数) ・職員同士で意見交換を行いながら常に実行・改善等の工夫をしている。 	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの体調・人数や天候などを考慮しながら毎日の活動を検討している ・作成しているものの、当日の子どもや職員人数により偏りがある。 	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス毎に行っている ・気づきや反省などを共有している。 ・必要な事、記録しておくべき事は支援者日誌に残している。 	
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援を振り返りに行い、気付いた点等を共有しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の子どもの様子に変化はないか話し合っている。 ・朝の申し合わせを毎日行っている。 	
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	19	0		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、放課後等でサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に半年ごとにモニタリングを行い、計画を見直している。 ・細かく具体的に記入している。 	
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最も詳しい者が参画しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の状況を考慮した上で可能な限り、最もふさわしい者が参加している。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等との連携を密にとっている。 ・子育て支援課は、東松島市は必要に応じて連携を取っているが、それ以外は希薄である。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育機関と連携した支援を行っているか。	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる子どもに関しては、保護者、看護師より指示を受けて必要な支援を行っている。 	
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	17	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方や、相談支援専門員を介して適宜情報共有などを行っている。 	
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17	2	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換ができていない園とできない園がある ・今後主治医や医療機関とも連携をとっていく必要がある ・子どもの情報(食事・排泄・身辺自立・衣服の着脱、友達との関わり、対人関係、コミュニケーション、気になることなど)を共有している。 	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解をはかっているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> ・書類を含め支援内容やこれまでの経過を細かく伝えている。 	

関係機関や保護者との連携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達障害支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	18	1	・あまり機会は多くないが、必要に応じて情報交換や情報共有を行っていると思う。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	19	0	・保育園との合同親子行事を年に数回設けている。 ・併設矢本西保育園との行事等で子どもたちが関わられるような機会を設けている。
	㉒	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議へ参加しているか	19	0	・参加している
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	19	0	・日々連絡帳のやり取りを行っている。 ・定期的に面談の機会を設けている。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	19	0	・必要に応じて情報提供を行っている
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	19	0	・契約締結時やサービス担当者会議などを利用し重要事項説明や規定などを話している。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及びこれに基づいて作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19	0	・面談でのモニタリングの中で、保護者とともに確認しながら進めている。(同意していただき計画を作成している)
	㉗	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	19	0	・連絡帳や送迎時等に情報共有を行い、その都度対応している ・一人で解決できないものは他職員と相談し、適切な助言ができるよう行っている。 ・定期的に面談を行っている。必要に応じて各機関とも連携している。 ・年に2回療育参観を実施している。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催するなどにより、保護者同士の連携を支援しているか	16	3	・父母会や保護者会はないが、茶話会など実施している。 ・保護者の中には他の保護者とのつきあいを避けている場合もある ・保護者会は実施していない。保護者同士の関わりは必要であると思うので、交流の機会があると良い。
	⑳	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合には迅速かつ適切に対応しているか	19	0	

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、園だよりを発行し、行事の様子や予定を伝えている。 ・個人情報の取り扱いには十分注意している。 ・法人内の便りや保護者への便り等を定期的に作成している。
	③⑧	個人情報に十分注意しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・動画などの取り扱いについて保護者の許可をもとに使用している。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や、必要に応じて電話、メールなど最も適した手段を用いている。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にはおはなしサークルや学生ボランティアなどを受け入れている。 ・実習生も積極的に受け入れている。
非常時等の対応	④①	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	18	1	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練を通して非常災害の発生に備えている。 ・保護者や職員が共通理解をしておく必要がある。(避難ルート、避難場所、連絡の取り方など)
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災、津波等を想定した避難訓練を月1回行っている
	④③	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・健康の記録を記入していただき、(保護者に)必要な情報を得ている。 ・事前に保護者と面談し状況を確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書にもとづく対応がされているか。	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーには、対応しているが、医師の指示書は求めている。 ・除去食で他の食材を提供して対応している
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事故を未然防ぐために今後作成して行きたい。 ・事例集は策定していないが、ケース記録に記入している。また、会議等で共有している ・事例集作成はしていないが、事故防止のために必要である。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・一人につき年に1回以上の外部研修の機会を設けている。 ・内部研修の充実に努めている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	19	0	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内での虐待防止委員会へ参加している。 ・身体拘束の事例はないが、契約時やサービス担当者会議時に保護者の方への丁寧な説明に努めている。